

2024年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	生涯スポーツ指導 (Lifetime Sports Guidance)		
ナンバリングコード	A10502 B10406	大分類 / 難易度 科目分野	教養基礎(教育)科目 / 基礎レベル
単位数	1	配当学年 / 開講期	3年 / 後期
必修・選択区分	選択 ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	A017051	クラス名	後期
担当教員名	武田 正芳、赤尾 将吾		
履修上の注意、履修条件	教職課程履修者は、生涯スポーツ指導1単位は必修です。運動ができる服装、体育館用シューズを必ず用意して下さい。 出席は毎時間取ります。遅刻をしないようにして下さい。 レポートの提出を求めます。		
教科書	各講義で資料を配付します。各自ファイルに保管し毎週持参してください。		
参考文献及び指定図書	特になし。		
関連科目	健康の科学、スポーツサイエンス、NSCA認定校カリキュラム科目		

○基本情報							
授業の目的	日本でのスポーツは、競技と競争によって優劣を決めることを第一の目的とする傾向が見られます。しかし、スポーツ欲求の高まりの中で、競技スポーツだけでなく、誰にでも生涯を通じて楽しめる生涯スポーツ習得の必要性が高まっています。 生涯スポーツ指導は、生涯にわたり積極的にスポーツ活動に参加しようとする態度と実践能力ならびに指導力を養うことを目的とします。						
授業の概要	実施種目は受講生数により決定する。生涯スポーツの導入としてできる限り多くの種目を経験してもらいます。第15回目にレポートを作成してもらいます。						
授業の運営方法	<table border="1"> <tr> <td>(1) 授業の形式</td> <td>「実験・実習形式」</td> </tr> <tr> <td>(2) 複数担当の場合の方式</td> <td>「複数クラス方式」</td> </tr> <tr> <td>(3) アクティブ・ラーニング</td> <td>「該当なし」</td> </tr> </table>	(1) 授業の形式	「実験・実習形式」	(2) 複数担当の場合の方式	「複数クラス方式」	(3) アクティブ・ラーニング	「該当なし」
(1) 授業の形式	「実験・実習形式」						
(2) 複数担当の場合の方式	「複数クラス方式」						
(3) アクティブ・ラーニング	「該当なし」						
地域志向科目	該当しない						
実務経験のある教員による授業科目	該当なし						

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	スポーツを楽しんでいる。			20点
【知識・理解】	各種目のルールや技術を習得している。			20点
【技能・表現・コミュニケーション】	実技を通じコミュニケーション、リーダーシップ、協調性や自己表現力を養う。			30点
【思考・判断・創造】	生涯にわたり積極的にスポーツ活動に参加しようとする態度と実践能力ならびに指導力がある。		30点	

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)
15週目に講義全般について振り返りを行ってまいります。 達成水準の目安は以下の通りです。 [Sレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 [Aレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 [Bレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 [Cレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。 課題のフィードバックについては、提出後の講義内で説明を行います。

○その他

2024年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名	生涯スポーツ指導 (Lifetime Sports Guidance)	授業コード	A017051
担当教員 武田 正芳、赤尾 将吾				
学修内容				
<b>1. 生涯スポーツ指導オリエンテーション</b> 生涯スポーツ指導について講義の進め方、クラス分け等行います。				
予習	次回の実施種目について予習をする。キーワード: バドミントンの歴史、ルール、審判法			約1時間
復習	学校体育と競技スポーツから、生涯スポーツの目的についてまとめる。			約1時間
<b>2. 基礎技術</b> バドミントン 年齢、男女問わずに誰でもレクリエーション的に行う面と、スポーツとしてゲームを展開する2面からとらえ生涯を通して楽しむことを目的とします。				
予習	次回の技術的課題をまとめる。			約1時間
復習	ルールと基礎技術の再確認。			約1時間
<b>3. 応用技術①</b> サービス・レシーブ・クリアーの練習・ヘアピンの練習・ゲームを行います。				
予習	次回のゲームに向けルールを再確認する。			約1時間
復習	ルールと応用技術の再確認。			約1時間
<b>4. 応用技術②</b> ゲーム(ダブルス、シングルス)を行います。				
予習	次回のゲームプランを立てる。			約1時間
復習	ゲームを振り返り分析をする。			約1時間
<b>5. 応用技術③</b> ゲーム(シングルス、ダブルス)を行います。				
予習	次回の実施種目について予習をする。キーワード: バスケットボールの歴史、ルール、審判法			約1時間
復習	ゲームを振り返り分析をする。			約1時間
<b>6. 基礎技術</b> バスケットボール バスケットボールは、2つのチームが入り交じり、チーム内の攻防の役割を分担し、パスやドリブルを使ってボールを運びシュートして得点を競い合うことが楽しい運動です。				
予習	次回の技術的課題をまとめる。			約1時間
復習	ルールと基礎技術の再確認。			約1時間
<b>7. 応用技術①</b> 審判方法習得及びゲームを行います。				
予習	次回のゲームプランを立てる。			約1時間
復習	ゲームを振り返り分析をする。			約1時間
<b>8. 応用技術②</b> ゲームを行います。				
予習	次回の実施種目について予習をする。キーワード: 卓球の歴史、ルール、審判法			約1時間
復習	ゲームを振り返り分析をする。			約1時間

○授業計画	科目名	生涯スポーツ指導 (Lifetime Sports Guidance)	授業コード	A017051
担当教員 武田 正芳、赤尾 将吾				
学修内容				
<b>9. 基礎技術</b> 卓球 卓球は、その人の力に応じ、老若男女誰にでも楽しめるスポーツです。卓球を通じて、社会性、協調性を身につけ、生涯スポーツにつなげることを目的とします。				
予習	次回の技術的課題をまとめる。			約1時間
復習	ルールと基礎技術の再確認。			約1時間
<b>10. 応用技術①</b> オフェンスの練習(スマッシュ等)・ディフェンスの練習・ゲームを行います。				
予習	次回のゲームプランを立てる。			約1時間
復習	ルールと応用技術の再確認。			約1時間
<b>11. 応用技術②</b> ゲーム(シングルス、ダブルス)を行います。				
予習	次回の実施種目について予習をする。キーワード: バレーボールの歴史、ルール、審判法			約1時間
復習	ゲームを振り返り分析をする。			約1時間
<b>12. 基礎技術</b> バレーボール スポーツの基本である走・跳・投を組み合わせた競技であるバレーボールを通して、リーダーシップ・人間力の育成とともに、スポーツの楽しさを実感する。 ルール説明、オーバーパス・アンダーパス・サーブ・アタック練習。				
予習	次回の技術的課題をまとめる。			約1時間
復習	ルールと基礎技術の再確認。			約1時間
<b>13. 応用技術①</b> ゲーム、審判方法習得。フォーメーション説明、6人でのコート内動作確認、ゲーム。				
予習	次回のゲームプランを立てる。			約1時間
復習	ルールと応用技術の再確認。			約1時間
<b>14. 応用技術②</b> ゲームまでの体作り、25点もしくは、15点ゲームで数多く色々なチームとゲーム。				
予習	現在の運動習慣を把握し、生涯どのようにスポーツと関わるかまとめる。			約1時間
復習	ゲームを振り返り分析をする。			約1時間
<b>15. 振り返り</b> 生涯スポーツ指導全般について振り返りを行ってもらいます。				
予習				約1時間
復習				約1時間
<b>16.</b>				
予習				約1時間
復習				約1時間